

■南中学校区地域コミュニティ円卓会議（略称：南中円卓会議）とは

1.「新しいまちづくり制度」の創設

昨年7月6日、大阪狭山市は市の財源を効果的に投資し、市民が真に必要なサービスを提供するため、3つの中学校区を単位とする「新しいまちづくり制度（円卓会議）」の創設を発表しました。

市民自治への契機づくりと、より市民ニーズに即したまちづくりや事業選択などを市民に委ね、市民が施策・事業の優先順位付けをして合意した事業に対し、500万円を限度として市に予算提案します。市が予算化すれば、市民の手で事業を進めることが出来ます。

2.「新しいまちづくり制度」創設の背景

市の地域性（高齢化率、自治会加入率、地域による住環境や住民意識の違いなど）が顕在する中では、これまでの行政主体の均一・総花的な施策では住民が真に満足するサービスの提供が難しくなっています。

今後も市の財源が縮小する可能性があるため、市はこれまでの均一的な地域行政を改め、市民が真に必要な施策に効果的に財源を投資することで投資効果を高めることを狙っています。

3.なぜ南中円卓会議設立が必要か

南中学校区では、

- ①高齢化率が市の平均20.0%に対し27.5%（西山台2丁目の39.5%を筆頭に6地区が30%を超えている）平成21年1月末現在
- ②人口が市の微増または横ばいに対し、この8年間で約10%減少
- ③ニュータウン開発後約40年経過し駐車場や空地・空家等の増加による環境変化（治安悪化?）など、他地域に比べ、少子高齢化対策、まちの活性化、広域的な防犯・防災対策などを最優先しなければならないという課題があります。

そこで市が創設した制度を活用し、「自分たちの手で南中学校区の新しいまちづくりを進め、このような地域課題を解決していこう」との認識の下に南中円卓会議を設立することにしました。



4.南中円卓会議で取り組む課題とは

高齢者の生きがいづくり、広域で取り組むほうがより効果的な防犯・防災や環境対策、一つの団体では解決できない課題への対応などで、これから自治会や各種団体の代表の方や円卓会議に参加していただける地域住民の方が集まった円卓会議で具体的な検討を行なっていきます。

5.自治会との役割分担

自治会は、住民の互助活動や安全・安心を軸とする個人生活に密着した地域活動などを行ないますが、円卓会議では、自治会やテーマ型活動を行なう各種団体とも連携しながら、より広域的な大きな視野に立ったまちづくりを担います。

一方、円卓会議の活動や運営は、自治会の情報の伝達機能の活用なしでは円滑に推進できないので、相互に連携することが重要になります。

6.南中円卓会議設立のメリット

- ①地域に最も必要な事業提案
事業予算提案だけでなく、行政の施策に対しても、優先付けなど住民意識や意見・要望などを反映させることが可能になります。
- ②地域の一体性の確保
住民の参画や各種団体が連携することで連帯意識が芽生え地区に一体感が生まれます。
- ③地域活動の相乗効果
各種団体の活動を連動させることにより、お互いの活動への刺激と活動活性化の相乗効果が期待できます。
- ④地域内の課題解決
地域型活動の自治会や目的テーマ型活動のNPO組織などの各種団体が連携することで、個々の団体では解決できなかった課題が解決可能になります。
- ⑤効果的な役割分担など
広域的テーマを円卓会議に振り分けることにより各団体の負担軽減が可能になり、地域内の人材を適切に配置・活用することで効率的な役割分担が可能になります。

■南中円卓会議の基本的な考え方

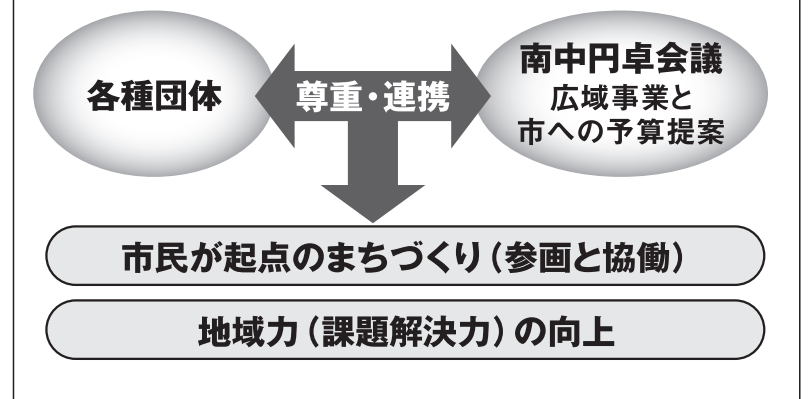
南中学校区では、安全で安心して暮らすことのできる地域社会をめざし、地域内の個人と個人、団体と団体が手と手をつなぎ、地域の課題に対応したり、中学校区内の広域的な独自のまちづくりを進めます。

そのために「**地域住民が自ら考え行動する対話と交流の場**」として南中円卓会議を位置付け、住民の誰もが気軽に参加できる組織運営をめざします。



基本的な考え方

- 今後、市が定める自治基本条例に則り、市民と行政が地域の課題とビジョンを共有し、市民参画と協働の「新しいまちづくり」を行います。
- 各種団体と南中円卓会議は対等の関係にあり、お互いの活動を尊重するとともに、良い連携を保ちながら相互補完を図ります。

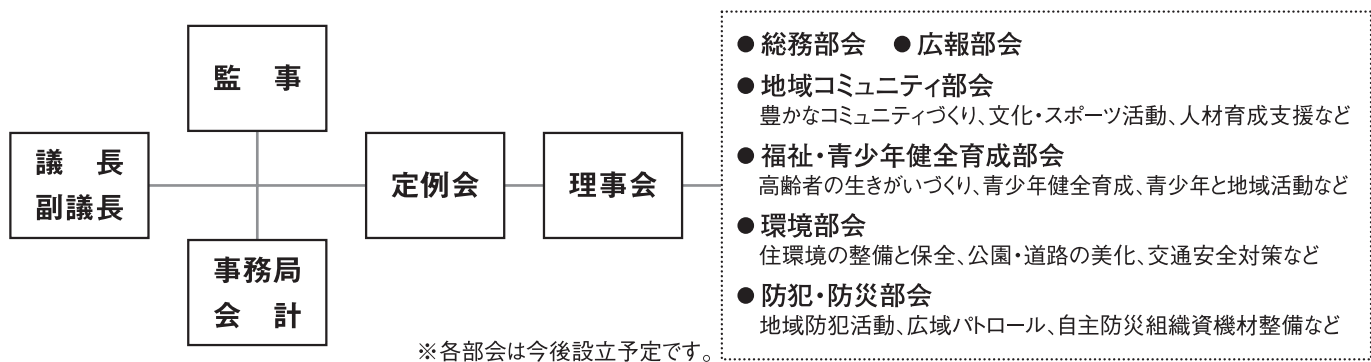


■南中円卓会議構成イメージ

構 成				会議・開催等
構 成 員	○自治会・住宅会・マンション管理組合の代表者および推薦者 ○NPOや市民活動団体、事業所等の代表者および推薦者 ○参画を希望し自治会・住宅会・マンション管理組合が推薦する地域住民等			
	会議名	構成メンバー		
	定例会	代議員	○自治会・住宅会・マンション管理組合の代表者 ○NPOや市民活動団体、事業所等の代表者 ○議長が推薦する者	・役員の選出や会則の改廃 ・事業・予算計画の審議 ・市への予算措置提案の審議 ・概ね6ヵ月ごとに開催
	理事会	役 員	議長、副議長、理事、各部会代表、会計、監事	・定例会議事の提案審議 ・実務の意思決定 ・概ね3ヵ月ごとに開催
			事務局代表	
部 会	（部会規程） 検討中	総務部会、広報部会、地域コミュニティ部会、福祉・青少年健全育成部会、環境部会、防犯・防災部会		○新しいまちづくりの趣旨に賛同し、参加を希望するNPOや市民活動団体の構成員、自治会・住宅会・マンション管理組合が推薦する地域住民 ・それぞれの専門分野で事業の企画、立案、事業実施などを担当 ・総会、役員会およびグループ会議の開催（案）
		事務局 会議全般をサポートする実務部門		

■組織イメージ

地域内の自治会・住宅会・マンション管理組合、各種市民団体等を核に、まちづくりにやる気・関心のある地域住民が集まり、お互いを尊重し、対話と交流を重ね、できることからまちづくりに取り組んでいきます。



●役員名簿

議長	金子 誠治（大野台4丁目自治会長）	理事	中尾 正行（大野地区会地区長）
副議長	西本 善次（公団狭山住宅地区長）	理事	後藤 正憲（南中学校区地域協議会）
副議長	今瀧 満政（大野台5・6丁目自治会長）	理事	菊屋 英一（南コミュニティクラブ）
理事	中川 隆司（狭山ニュータウン自治会長）	理事	中村 秀彦（市こども会育成連絡協議会）
理事	松嶋 玲子（府営狭山住宅北自治会長）	部会代表	未定
理事	大西 堂文（大野台1丁目自治会長）	会計	中谷 三友紀（南中円卓会議事務局）
理事	林 伊三郎（大野台2丁目自治会長）	監事	阪口 徳和（大野台7丁目自治会長）
理事	長谷 正紀（大野台3丁目自治会長）	事務局代表	川竹 了（南中円卓会議事務局）
理事	揚村 光男（大野台7丁目自治会）		

●今後の予定

第1回 定例会……5月9日（土）午後1時30分 コミュニティセンター 4階大会議室

部会員を募集します!!

みなさまの参加でまちづくりを推進するため部会員を募集します。
上記の組織イメージで予定される部会で
「興味がある」「協力ができそうだ」という部会がありましたら、
自治会・住宅会・マンション管理組合の代表者にお問い合わせください。



■南中円卓会議連絡先

メールBOX

〒589-0023
大阪狭山市大野台2丁目1番5号
コミュニティセンター事務室内
南中円卓会議

電話受付

議長	金子 誠治	TEL 367-9538	事務局	浅野 斉	TEL 365-5690
副議長	西本 善次	TEL 367-0464	事務局	今枝 幹敏	TEL 366-8415
副議長	今瀧 満治	TEL 366-8396	事務局	中村 秀彦	TEL 365-8059
事務局	川竹 了	TEL 365-5269			

円卓会議に関する市役所窓口➡政策調整室 企画グループ 地域担当 東・田中 TEL 366-0011（内線219）／FAX 367-1254



南中学校区地域コミュニティ円卓会議

南中円卓会議ニュース

2009年3月

第1号

南中学校区
地域コミュニティ
円卓会議

南中学校区地域コミュニティ円卓会議

議長に大野台4丁目自治会長 金子 誠治氏選出

（略称 南中円卓会議）が発足!!

2月11日
設立総会
開催!!

2月11日、コミュニティセンターで南中円卓会議設立総会が開催され、84名の参加者によって円卓会議設立が承認されました。

設立総会では、吉田友好大阪狭山市長があいさつされ、「テーマ型の団体とネットワークを持つ自治



会が手を組み、力を合わせて、地域で今何をすべきかということを出して、それに取り組んでいく。お金が必要なら、市のほうで手立てはする。それが、この円卓会議の主な目標である。」と円卓会議創設の意図を述べられました。

その後、南中円卓会議の内容や設立趣意書について説明を行ない、会則の審議・承認、市へ登録する構成員名簿、定例会メンバー選出、役員選出、そして部会の創設と部会員の募集方法についての議案が諮られました。

役員については、大野台1丁目自治会長大西氏が追加され、それ以外は設立準備委員会が提案した内容が承認されました。

私たちも、これから「自分たちのまちは、自分たちでつくる」をモットーにして、新しいまちづくりを進めていきたいと思います。

議長あいさつ

金子 誠治

大野台4丁目自治会の金子誠治でございます。
このたび議長という、大役を仰せつかりまして、その責任の重さに身が引き締まる思いであります。微力ながら精一杯努めさせていただきます。
今日まで紆余曲折がありましたが、「南中円卓会議」も2月11日の設立総会をもちまして、いよいよスタートすることになりました。

今後は早急に、「まちづくり事業計画」の立案や「部会メンバー」の募集をさせていただき、南中校区の安全で安心して暮らすことのできる、新しいまちづくりに向け、「高齢者への福祉活動」、「防犯・防災の安全活動」など、地域問題・課題に取り組み、そしてこの円卓会議の内容が、地域住民の方々に、十分に理解できるようにと考えております。

いずれにしても、地域住民皆様のご支援がなければ前に進めることができません。一人ひとりがこのまちの住民であることの自覚のもとに、

「誰かがやってくれる」ではなくて「自分がやらなくては」という気持ちで参加していただきたいとお願いする次第です。

南中円卓会議の合言葉にもありますように…「みんなで、なかよく、みらいをつくる」を基に、組織運営を進めて参りたいと思っておりますので、どうぞ皆様のご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

